

2024年度 第2四半期決算説明会

2024年11月26日

【証券コード 4401】



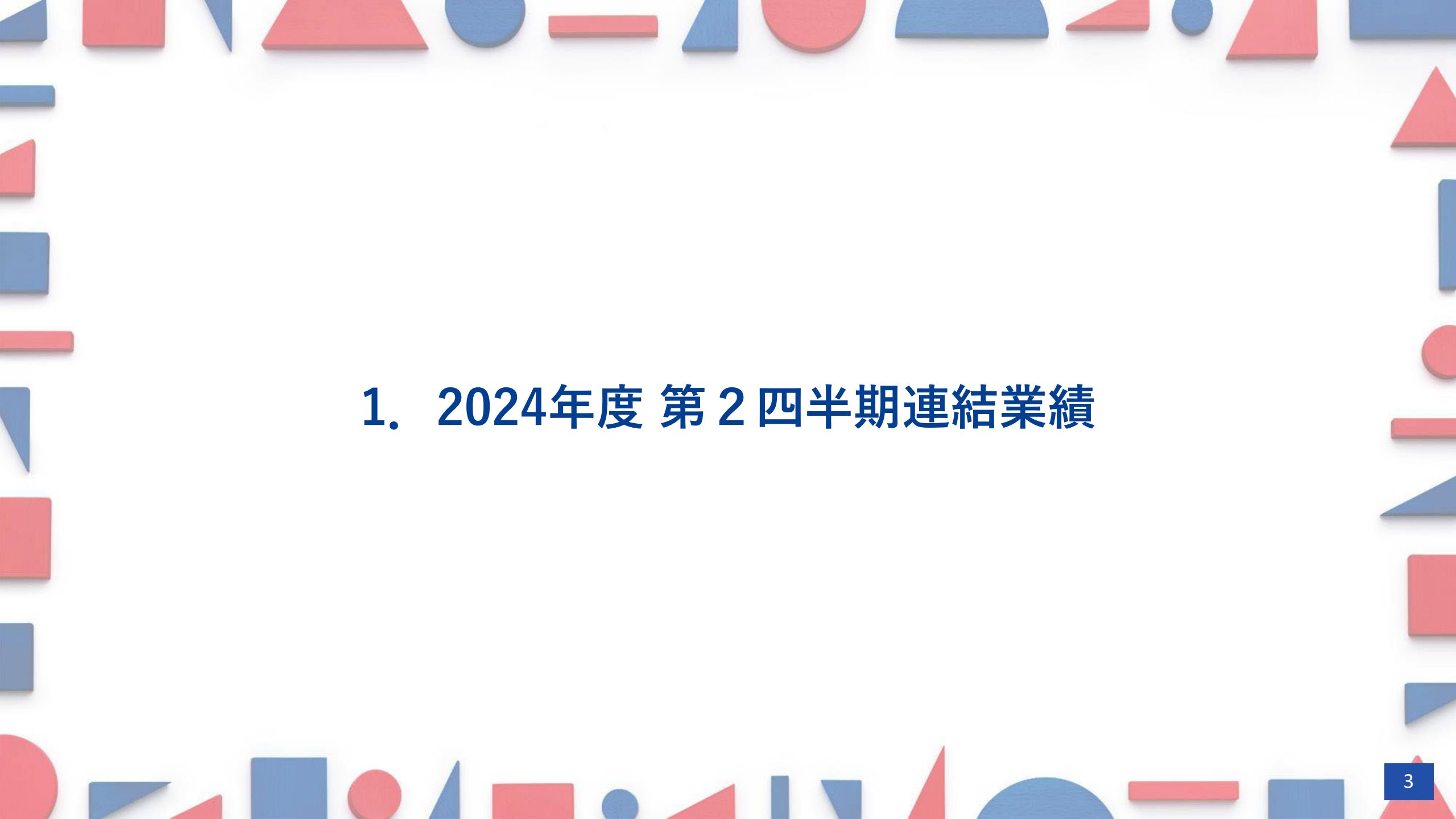
2024年度 決算説明

第2四半期

2024年4月1日～2024年9月30日

代表取締役社長兼社長執行役員 城詰 秀尊

1. 2024年度 第2四半期連結業績	… P 3
2. 2024年度 連結業績予想の修正	… P13
3. ご参考	… P26
・ 中期経営計画『ADX 2026』進捗状況 ・ 設備投資の状況 ・ 海外売上高	

A decorative border composed of various red and blue geometric shapes, including squares, triangles, circles, and rectangles, arranged in a pattern around the edges of the slide.

1. 2024年度 第 2 四半期連結業績

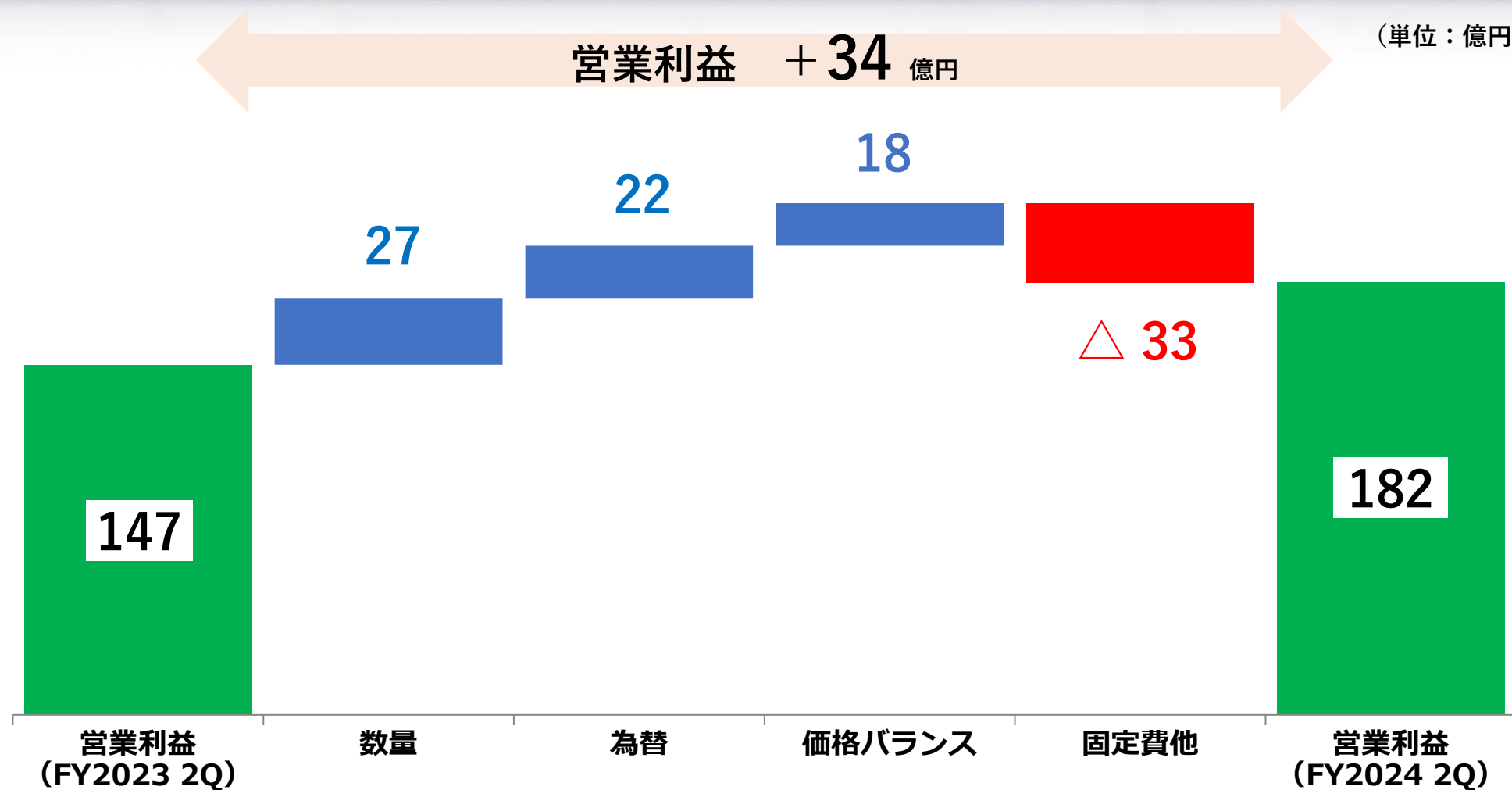
2024年度 第2四半期連結業績の概要

2024年度 第2四半期連結業績

(単位：億円)

	FY2023 2Q	FY2024 2Q	増減	増減率 (%)	前回予想 (2024年8月公表)
売上高	1,876	1,950	74	4.0	1,970
営業利益	147	182	34	23.6	170
経常利益	155	168	13	8.6	169
中間純利益	105	114	9	8.9	117
1株利益	103.2円	112.5円	9.3円		114.6円

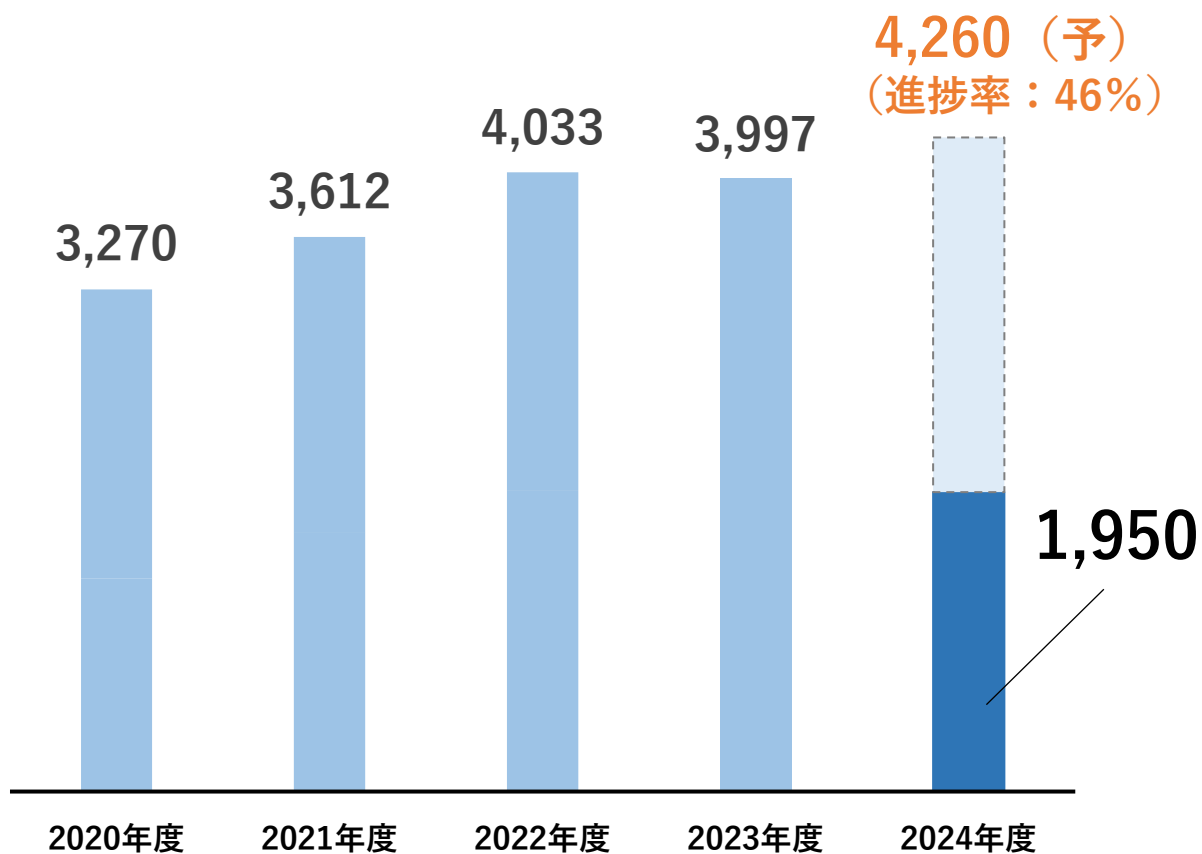
注) 金額は億円未満を切り捨て、1株利益は小数点第2位を四捨五入して表示



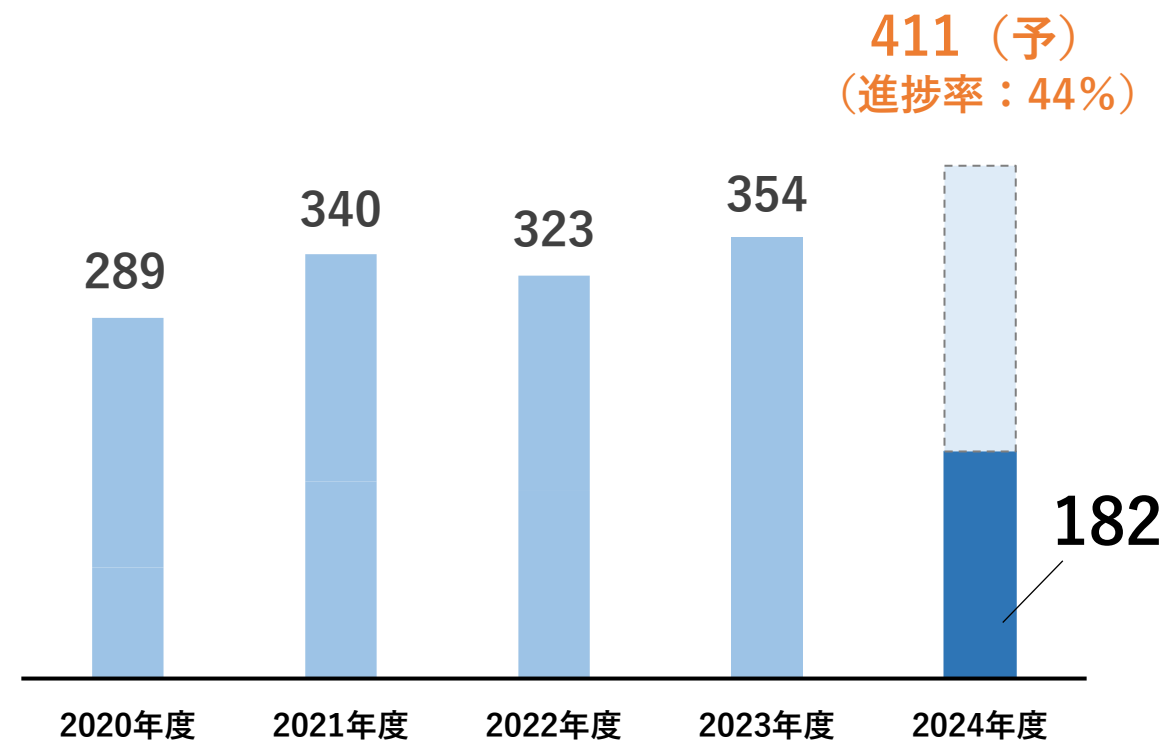
注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

(単位：億円)

売上高



営業利益



注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

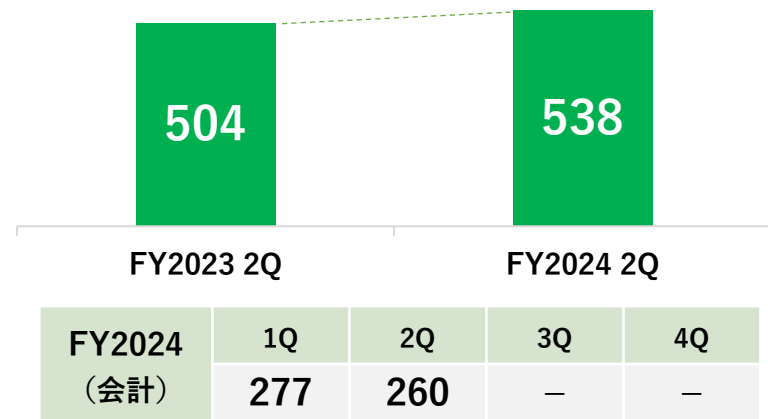
2024年度 第2四半期連結業績（セグメント別）

2024年度 第2四半期連結業績

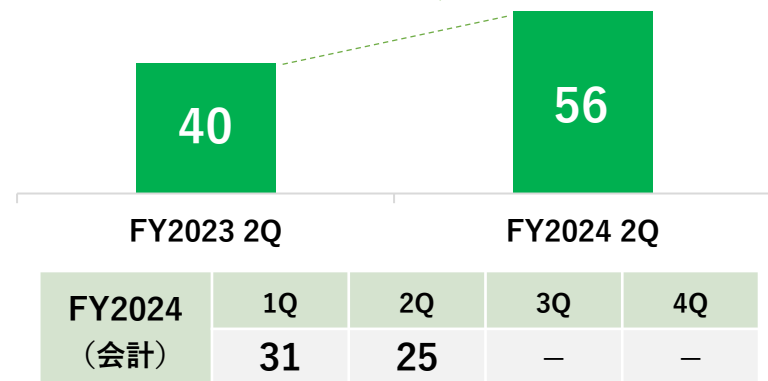
(単位：億円)	FY2023 2Q	FY2024 2Q	増減	増減率（％）	前回予想※	※2024年 8月公表
売上高	1,876	1,950	74	4.0	1,970	
化学品	1,015	1,116	100	9.9	1,158	
樹脂添加剤	504	538	34	6.8	586	
電子材料	192	217	25	13.3	214	
環境材料	318	360	41	12.9	358	
食品	413	410	△ 3	△ 0.8	400	
ライフサイエンス	406	391	△ 15	△ 3.8	387	
その他	40	32	△ 7	△ 19.4	25	
営業利益	147	182	34	23.6	170	
化学品	120	150	29	24.7	138	
樹脂添加剤	40	56	16	39.7	49	
電子材料	52	53	0	1.5	55	
環境材料	27	40	12	47.1	34	
食品	13	22	9	72.8	23	
ライフサイエンス	6	6	△ 0	△ 9.9	8	
その他	7	3	△ 3	△ 47.6	1	

注）金額は億円未満を切り捨てて表示

◆ 売上高 6.8% （単位：億円）



◆ 営業利益 39.7% （単位：億円）



注）金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因（対前年同期）

- ・ 塩ビ用安定剤が、北米での販売拡大や新規採用により販売好調
- ・ 透明化剤や酸化防止剤は、需要回復に加え、海運混乱に伴う顧客の発注前倒しもあり販売好調

◆ 建築・インフラ

好 調 住宅内装材向け 塩ビ用安定剤

◆ 食品包装・容器

好 調 食品包材向け 透明化剤

◆ 自動車・EV（内外装部材）

好 調 酸化防止剤、核剤

◆ 家電製品

好 調 家電筐体向け 難燃剤

営業利益の主な要因（対前年同期）

価格バランス
14億円

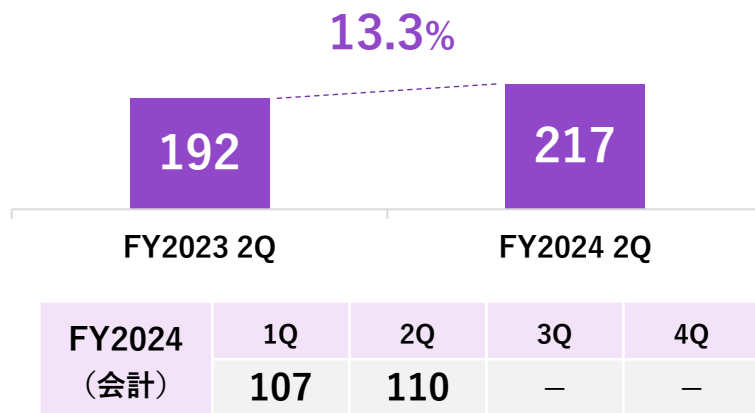
為 替
6億円

数 量
4億円

固定費他
△ 9億円

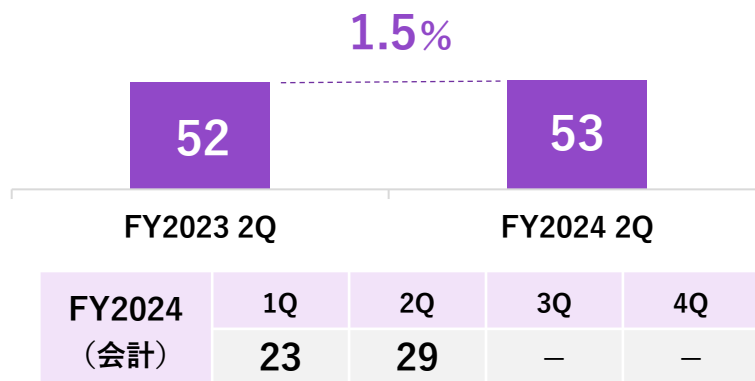
◆ 売上高

（単位：億円）



◆ 営業利益

（単位：億円）



注）金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因（対前年同期）

- ・ 生成AI関連などの先端半導体向けに、高誘電材料や光酸発生剤の販売好調
- ・ ブラックマトリクス樹脂が、中国での販売拡大や新規採用により販売好調

◆ 半導体

好調

先端DRAM向け 高誘電材料

先端リソグラフィ用 光酸発生剤＋周辺材料

◆ ディスプレイ

好調

カラーフィルター向け

ブラックマトリクス樹脂、光重合開始剤

光学フィルム向け 光硬化樹脂

低調

液晶パネル向け エッチング薬液

営業利益の主な要因（対前年同期）

数量
11億円

為替
3億円

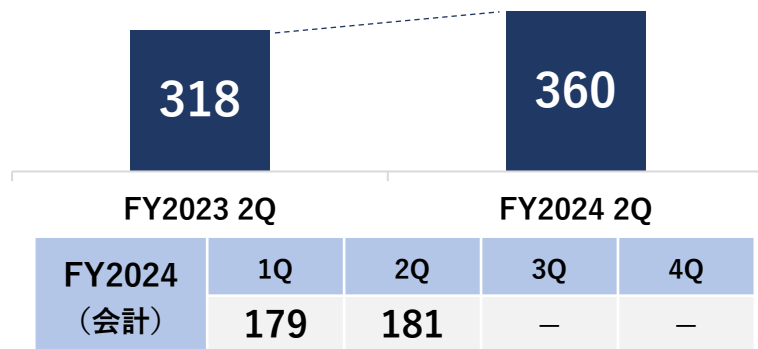
価格バランス
△ 9億円

固定費他
△ 4億円

◆ 売上高

（単位：億円）

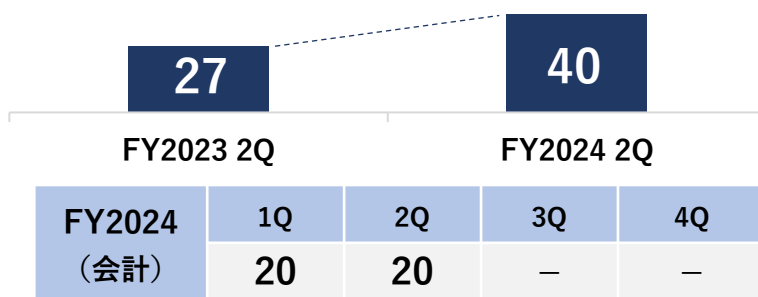
12.9%



◆ 営業利益

（単位：億円）

47.1%



注）金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因（対前年同期）

- ・HV車の販売拡大により、アジアでエンジンオイル用潤滑油添加剤の採用拡大
- ・建築塗料に使用される反応性乳化剤の販売も、アジアでの採用拡大が続き好調

◆ 自動車

好 調

エンジンオイル用 潤滑油添加剤

ゴムタイヤ用 伸線用潤滑剤

構造用接着剤向け エポキシ樹脂

堅 調

車載用電子部品向け エポキシ樹脂接着剤

◆ 建築・インフラ

好 調

塗料・接着剤向け 反応性乳化剤、水系樹脂

◆ エレクトロニクス関連

堅 調

洗浄用途 過酸化製品

営業利益の主な要因（対前年同期）

数 量
9億円

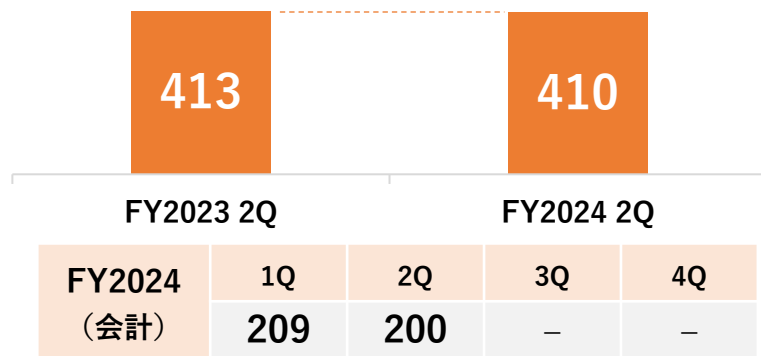
為 替
7億円

固定費他
△ 3億円

◆ 売上高

(単位：億円)

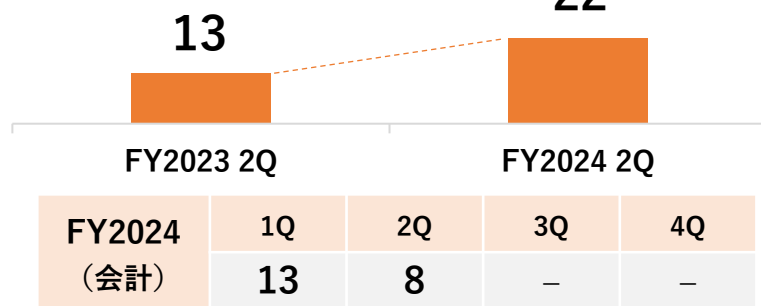
△ 0.8%



◆ 営業利益

(単位：億円)

72.8%



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因 (対前年同期)

- ・ 中国での販売低調の他、不採算品の見直しや子会社の収益認識基準を変更したことも減収の要因
- ・ 東南アジアで機能性油脂の販売好調。国内は食品ロス削減に貢献する機能性マーガリン「マーベラス」シリーズが製パン向けを中心に販売好調

◆ 製パン・製菓

好 調

東南アジア・日本
機能性マーガリン「マーベラス」シリーズなど

◆ 製パン・カフェなど

好 調

プラントベースフード「デリプランツ」シリーズ

営業利益の主な要因 (対前年同期)

価格バランス
13億円

数 量
2億円

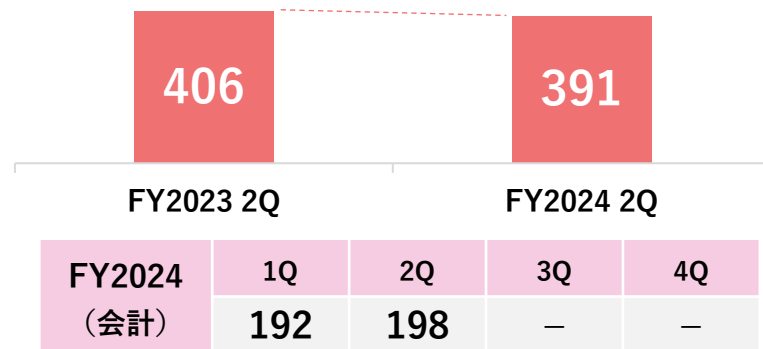
固定費他
△ 5億円

ライフサイエンス事業（日本農薬）

◆ 売上高

(単位：億円)

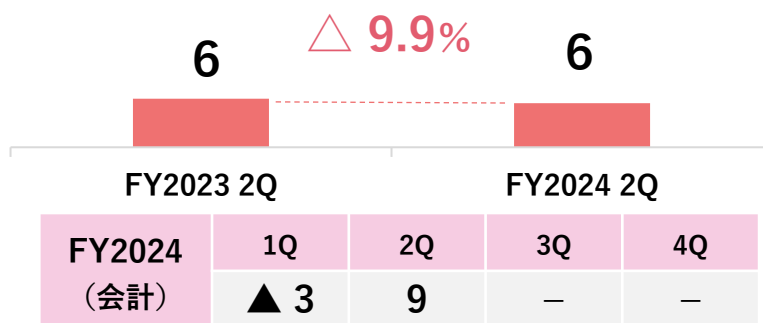
△ 3.8%



◆ 営業利益

(単位：億円)

△ 9.9%



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因（対前年同期）

- ・ 過年度の流通在庫の影響等から、インドやブラジルでの農薬販売が低調
- ・ 医薬品は、国内の爪白癬向けに需要が減少し、外用抗真菌剤の販売低調

◆ 農薬

低 調

インド、ブラジル（ジェネリック品などの農薬全般）
 欧州（園芸用殺虫剤など、バイエル社向け原体販売）

堅 調

日本（水稻用殺虫剤やコルテバ社製品など）
 北米、欧州（除草剤ほか）

◆ 医薬品

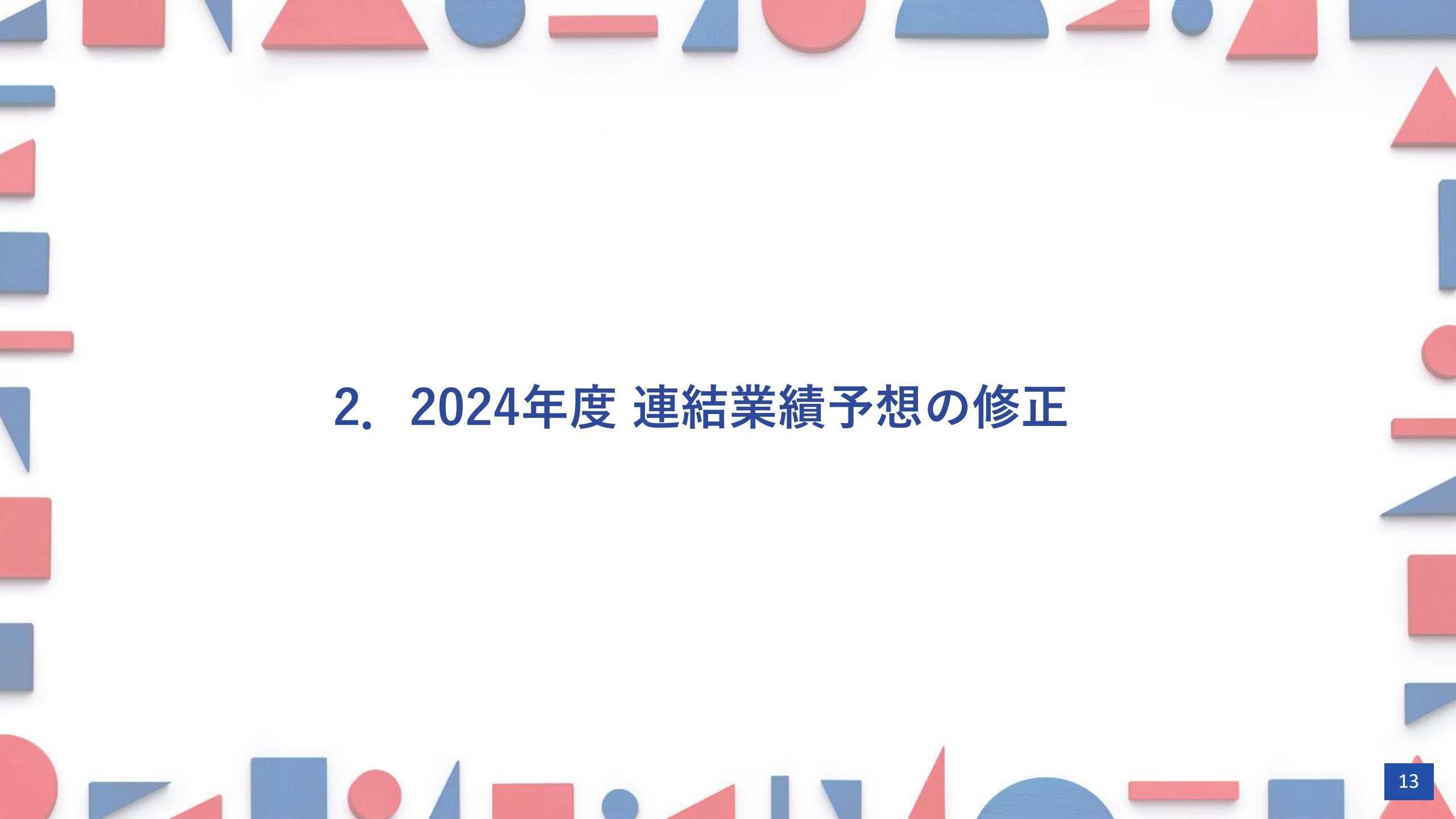
低調

爪白癬分野
 外用抗真菌剤「ルリコナゾール」

営業利益の主な要因（対前年同期）

固定費他
 △ 6億円

為 替
 6億円

A decorative border composed of various red and blue geometric shapes, including triangles, squares, circles, and rectangles, arranged in a pattern around the edges of the slide.

2. 2024年度 連結業績予想の修正

世界経済	緩やかながらも、先進国を中心に安定した成長が続く見通し 一方で、米国・中国の政策や中東情勢の動向が経済に及ぼす影響に留意					
セグメント	化学品				食品	ライフサイエンス
マーケット	自動車	建築 インフラ	半導体	ディスプレイ	量販店 コンビニ	観光・外食 農業
下期見通し						
	先行き不透明も 底堅く推移	需要は底を 打って横ばい	生成AI 需要旺盛	市場競争激化の末 中国シフト進む	消費者の 節約志向続く	インバウンド好調 国内旅行者は 節約志向へ 作付面積は 拡大基調



2024年度 連結業績予想の修正

(単位：億円)

	修正予想 (2024/11/12)			2023年度 実績 (b)	増減額 (a)-(b)	増減率 (%)	(ご参考) 前回予想 ※2024年8月公表		
	上期 (実績)	下期 (予想)	2024年度 (a)				上期予想	下期予想	通期予想
売上高	1,950	2,309	4,260	3,997	262	6.6	1,970	2,290	4,260
営業利益	182	228	411	354	56	16.0	170	222	392
経常利益	168	223	392	357	34	9.6	169	215	384
当期利益	114	130	245	229	15	6.6	117	125	242
1株利益	112.5円	128.3円	240.9円	224.9円	16.0円	-	114.6円	122.4円	237.0円

		2024年度 下期前提
為替	円/\$	152.00
	円/€	164.00
ナフサ	円/KL	78,000

為替感応度 (年度)	営業利益に対する 1円・円高影響
△ 1億円	
△ 0.3億円	

注) 金額は億円未満を切り捨て、1株利益は小数点第2位を四捨五入して表示

セグメント別 連結業績予想の見直し

(単位：億円)	上期実績 (a)	下期予想 (b)	通期予想 (a)+(b)	前年度実績 (c)	増減 (a)+(b)-(c)	増減率 (%)	(ご参考) 前回予想 ※2024年8月公表		
							上期予想	下期予想	通期予想
売上高	1,950	2,309	4,260	3,997	262	6.6	1,970	2,290	4,260
化学品	1,116	1,209	2,326	2,041	284	13.9	1,158	1,170	2,328
樹脂添加剤	538	607	1,146	1,004	141	14.0	586	578	1,164
電子材料	217	242	460	390	69	17.9	214	230	444
環境材料	360	359	720	646	73	11.4	358	362	720
食品	410	416	827	840	△ 13	△ 1.6	400	427	827
ライフサイエンス	391	653	1,045	1,030	14	1.4	387	658	1,045
その他	32	29	62	86	△ 24	△ 28.0	25	35	60
営業利益	182	228	411	354	56	16.0	170	222	392
化学品	150	144	295	236	58	24.5	138	133	271
樹脂添加剤	56	50	107	79	27	33.9	49	41	90
電子材料	53	65	119	97	21	21.5	55	59	114
環境材料	40	28	69	59	9	16.8	34	33	67
食品	22	16	39	41	△ 2	△ 5.1	23	21	44
ライフサイエンス	6	66	73	59	13	23.6	8	65	73
その他	3	0	4	17	△ 13	△ 76.6	1	3	4

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

23年下期 対 24年下期

増収・増益 一時的な調整局面はあるものの、製品全般の需要回復が続く見通し

プラスチック製品全般

サプライチェーン上の滞留在庫が解消
中東での樹脂生産が回復



汎用酸化防止剤

中東・欧州に加え、
米州の樹脂メーカーへ展開



ワンパック顆粒添加剤

中東・欧州で拡販

自動車

x E Vの普及拡大により
自動車部材の難燃化ニーズが拡大



イントメッセント系難燃剤

アジアに加え、
欧州での拡販・新規顧客の開拓

樹脂添加剤の新製品 | 新規透明化剤 ①

透明化剤 トランスパレックス

英 名「TRANSPAREX」

製品名「アデカトランスパレックス CAシリーズ」

- ✓ ポリプロピレンに世界最高の透明性*を実現する新製品
- ✓ 2024年11月から米国、アジア圏を中心に販売開始（国内外で生産）

既存品を凌駕する、圧倒的な透明性

“超高透明”なポリプロピレンの実現

シェア奪取

ポリプロピレン市場の拡大
+ 他の透明樹脂からの代替（新市場創出）

■ 当社シェア（グローバル）

14%

現 在

60%以上

2030年目標

■ 透明化剤の市場規模（グローバル）

300億円

現 在

500億円超

2030年目標

2030年までに透明化剤の連結売上高 300億円、世界シェアNo.1を目指す

*ポリプロピレンの透明性を厚さ1mm試験片で測定（Haze値）。当社試験によると市場におけるこれまでの最高性能はHaze値:3.2。
トランスパレックスを添加したポリプロピレンはHaze値:≦2.0を実証。Haze値は値が低いほど透明。（2024年11月1日時点、当社調べ）

樹脂添加剤の新製品 | 新規透明化剤 ②

Point 1 世界最高の透明性

ポリプロピレンに
トランスパレックスを
少量添加



写真左：ポリプロピレンにトランスパレックスを
0.1%添加した試験片（厚み1mm）

ポリプロピレンへのシフトを加速し、
様々な市場の要望に応じていく

- 電子レンジ加熱に対応した透明性の高い食品容器
 - 耐薬品性が求められる医療器具や化粧品ボトル
- ... and more

Point 2 今までにない“ポリプロピレン”を実現

ポリスチレン
PET
(一般的な透明樹脂)

ポリプロピレン+
トランスパレックス

ポリプロピレン

透明性

両立

耐熱性・耐薬品性

環境*



食品包装・容器



医療器具



化粧品ボトル



自動車部材

* ポリプロピレンは、リサイクルしやすく環境にやさしい樹脂

23年下期 対 24年下期

増収・増益

先端半導体向け製品を中心に、引き続き好調に推移する見通し
設備投資に伴う、固定費増を織り込み

半導体

A I 向けメモリ、ロジックは引き続き拡大
レガシー半導体は回復遅れが続く



先端半導体メモリ向け
高誘電材料



先端フォトレジスト向け
光酸発生剤



先端ロジック I C 向け
汎用 A L D 材料

シェア堅持と
微細化に対応した新規材料の拡大

E U V 向け新規テーマ獲得
周辺材料の拡大（多層レジスト向けなど）

ベーシックな材料 米国・台湾で拡販

23年下期 対 24年下期

増収・減益

自動車、建築塗料、接着分野での販売拡大に注力

下期に「電池材料の組み入れ」「投資した高純度過酸化水素設備の稼働」
「人員増」に伴う固定費増を織り込み

自動車

H E V・P H E V車と省燃費オイルの海外需要が拡大



エンジンオイル用潤滑油添加剤
アデカ サクラループ シリーズ

米国・中国の新車向け
アジア **2輪**向けでの採用拡大

建築塗料・接着分野

高機能建築外装用、食品ラベル用が
海外で拡大



反応性乳化剤（アクリルエマルション）
アデカリアソープ シリーズ

販売好調な**インド**に加え、
欧米での拡販

事業化推進 | 次世代二次電池材料

SPAN アデカアメランサ SAMシリーズ

- ✓ 2024年7月 事業本部へ組織変更（環境材料本部 電池材料開発研究所）
- ✓ SPANを用いた様々なテストセルの試作・実証を積極開示、産官学連携



世界初のテストセル試作・実証に成功

● SPAN+樹脂箔を使ったLi-S電池*

- ✓ アルミニウム箔の代わりに樹脂箔を用いた世界初のLi-S電池で軽量実証（LIBの約半分の軽さ）**
- ✓ 安全性(釘刺し)試験で未発火



ドローン・HAPS(成層圏通信プラットフォーム)
・eVTOL(電動垂直離着陸機)に好適

● SPAN+グラフェンを使った全固体Li-S電池***

- ✓ 通常のリチウムイオン電池では作動困難な高温条件下でも電池のパフォーマンス発揮
- ✓ 全固体Li-S電池で世界最高クラス性能**

飛行体以外の用途(定置蓄電池、EV等)
への応用可能性



* うるたま(株)および(国)産業技術総合研究所との共同成果、KISCO(株)とソフトバンク(株)協力 / ** 当社調べ（軽量実証、世界最高クラスは2024年11月20日時点）

*** (国)産業技術総合研究所およびATTACCATO合同会社との共同成果、(株)大阪ソーダ協力

2026年度までに飛行体向けでの実用化を加速

23年下期 対 24年下期

減収・減益

収益性改善と、海外での高機能製品の販売拡大に注力

国内外の市況

- ・ 中国経済の停滞が続く
- ・ 国内では消費者の節約志向が続く（商品値上りと賃金上昇に開き）
- ・ 円安の継続／物価高

減収・減益の要因



- 中国での販売回復の遅れ
- 不採算品の見直しに伴う減収
- さまざまなコストアップ
(油脂・副原料・運賃・包材・用役・固定費 etc.)

品種統合の継続（固定費圧縮・生産効率化）
販売価格の適正化

海外展開を加速



- 食品ロス削減に貢献
マーベラス CNC 高濃度タイプ
- プラントベースフード PBFチーズ柱に
デリプランツ シリーズ

東アジアに加え、
インド、オセアニア、中東での展開加速

ライフサイエンス事業（日本農薬）

23年下期 対 24年下期

増収・増益

ブラジルでの収益性改善、
欧米では自社開発品目を中心とした果樹・野菜市場の深耕を図る

世界の農薬市場

人口増加や新興国の経済発展などを背景に食料需要は拡大、
世界の農薬需要は引き続き拡大基調

○ 中南米

○ 北 米

△ アジア

△ 欧 州

上期 下期見込 通期見込

*売上高の前年同期比

↓	↑	↑
↑	↓	↑
↓	↑	↓
↓	↓	↓

バイエル社向け原体販売の減少

自社開発品目の販売拡大（製品ミックス改善）
原料価格の改善

果樹・野菜向け 殺虫剤や、除草剤の販売強化
メキシコ、カナダ向けビジネス強化

インドの乾季作需要を捉え、
水稻用殺虫剤「オーケストラ」の普及拡大

除草剤の販売好調、増益の見込（製品ミックス改善）
生物農薬、バイオスティミュラントなどの展開加速

配当方針と2025年3月期の配当予想

■ 財務体質と経営基盤の強化・拡充を図りながら、財務状況と業績を勘案し、適正な利益の還元を行う

成長市場・分野への
積極的な投資

中長期的に
業績を向上

配当水準の向上
配当性向 **40%以上**

安定配当

■ 2025年3月期 中間配当・期末配当予想を上方修正

中間配当で1株につき **48 円** を実施 （前回予想比 + 3 円 増配）

期末配当は1株につき **49 円** を予想 （前回予想比 + 4 円 増配）

年間配当 **97 円／株**（配当性向：40.3%）

3. 参考

ご参考 | 中期経営計画『ADX 2026』

		2024年度 予想	2026年度 計画
財務指標	営業利益	411億円 (売上高 4,260億円)	530億円 (売上高 5,000億円)
	R O E	8.5%	11.0%
	R O I C	—	10.5%
サステナビリティ 指標	環境貢献製品売上高	—	1,150億円
	G H G 排出量	—	199千t-CO2e
	女性管理職比率	—	6%以上 (単体)
設備投資額		207億円／年度	750億円 (3カ年)
配当方針 (配当性向)		40%	40%以上

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示、比率は小数点第2位を四捨五入して表示

半導体分野で積極的な投資を実行

電子材料

- ✓ 先端半導体メモリ向け高誘電材料
 - 順次、能力・設備増強を計画・実行

将来に向けた

- ✓ 半導体向け新規材料の製造棟
 - 新棟建設は順調に進捗



韓国

電子材料

先端ロジック半導体向け材料

- 2024年度中に量産立ち上げ



台湾

電子材料

環境材料

久喜研究所 新研究棟新設

- 2026年1月 完工予定

環境材料

富士工場

半導体向け高純度過酸化水素

- 近々、営業運転開始予定

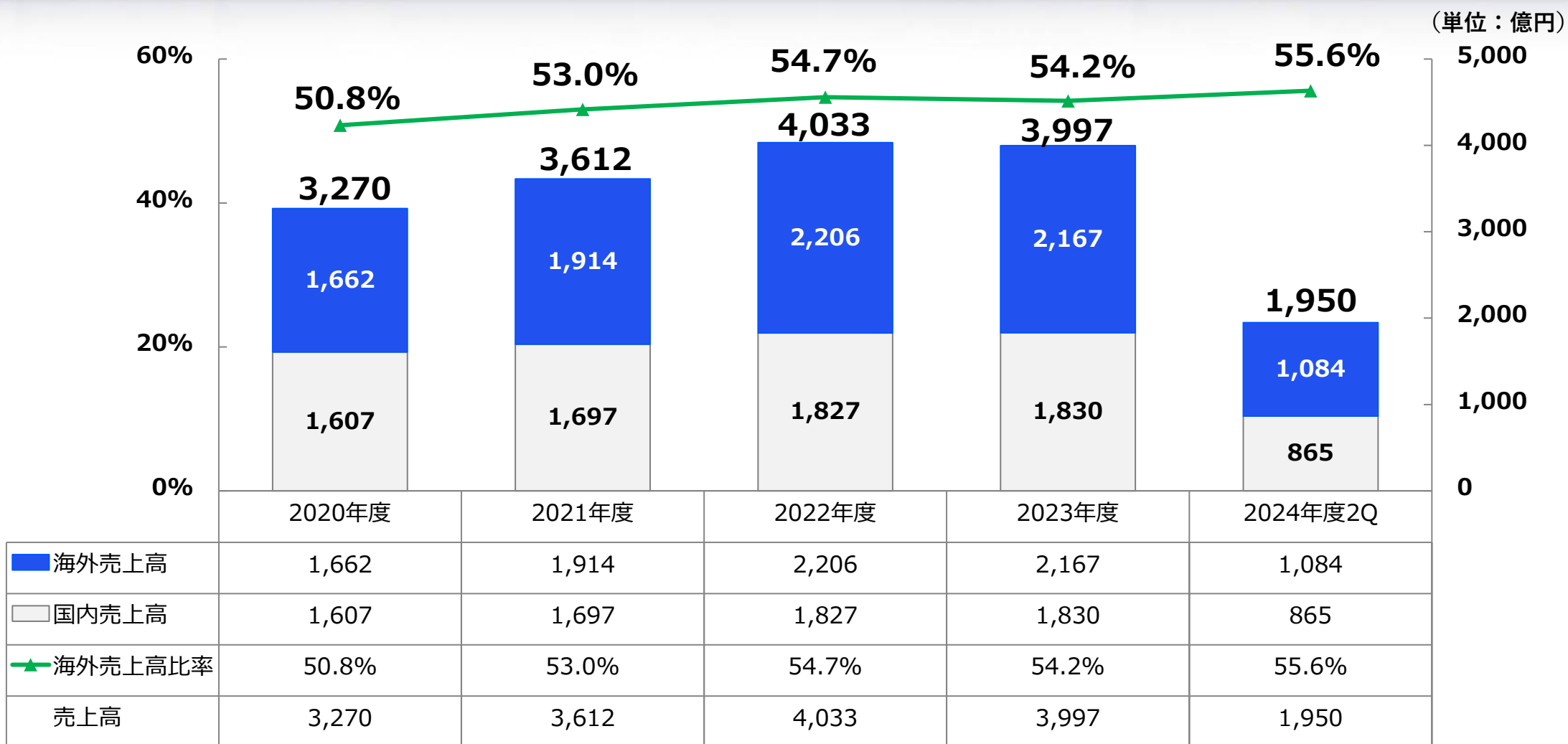


エポキシ樹脂接着剤

三重工場

- 2025年度 営業運転開始予定

ご参考 | 海外売上高

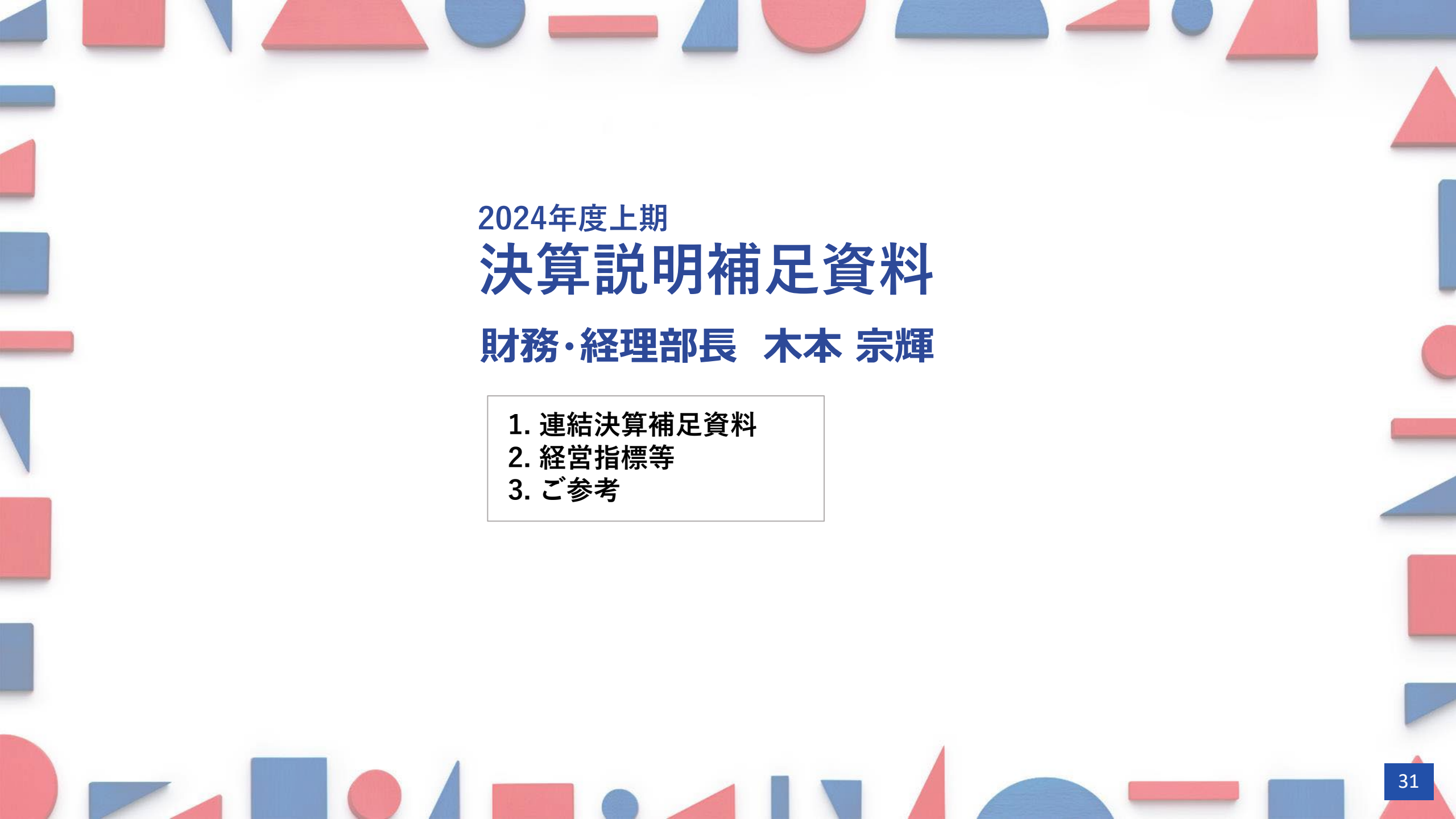


注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載



Add Goodness

A decorative border composed of various geometric shapes (triangles, squares, circles, and polygons) in red and blue colors, arranged in a repeating pattern along the top, bottom, and sides of the slide.

2024年度上期

決算説明補足資料

財務・経理部長 木本 宗輝

1. 連結決算補足資料
2. 経営指標等
3. ご参考

1-1 連結貸借対照表

1. 連結決算補足資料

(単位：億円)	24/3末	24/9末	増 減		24/3末	24/9末	増 減
流動資産	3,465	3,293	△ 172	負債	2,033	1,840	△ 193
現金及び預金	984	1,039	54	流動負債	1,344	1,144	△ 200
受取手形及び売掛金等	1,169	927	△ 242	固定負債	689	696	6
棚卸資産	1,146	1,176	30	純資産	3,396	3,404	7
その他	166	150	△ 15	株主資本	2,529	2,580	50
固定資産	1,964	1,950	△ 13	資本金	230	230	-
有形固定資産	1,268	1,258	△ 10	資本剰余金	201	202	1
無形固定資産	164	157	△ 7	利益剰余金	2,131	2,194	63
投資その他の資産	531	534	3	自己株式	△ 33	△ 47	△ 13
				その他の包括利益累計額	321	301	△ 20
				非支配株主持分	545	521	△ 23
資産合計	5,430	5,244	△ 186	負債・純資産合計	5,430	5,244	△ 186

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

1-2 キャッシュフロー計算書（要約）

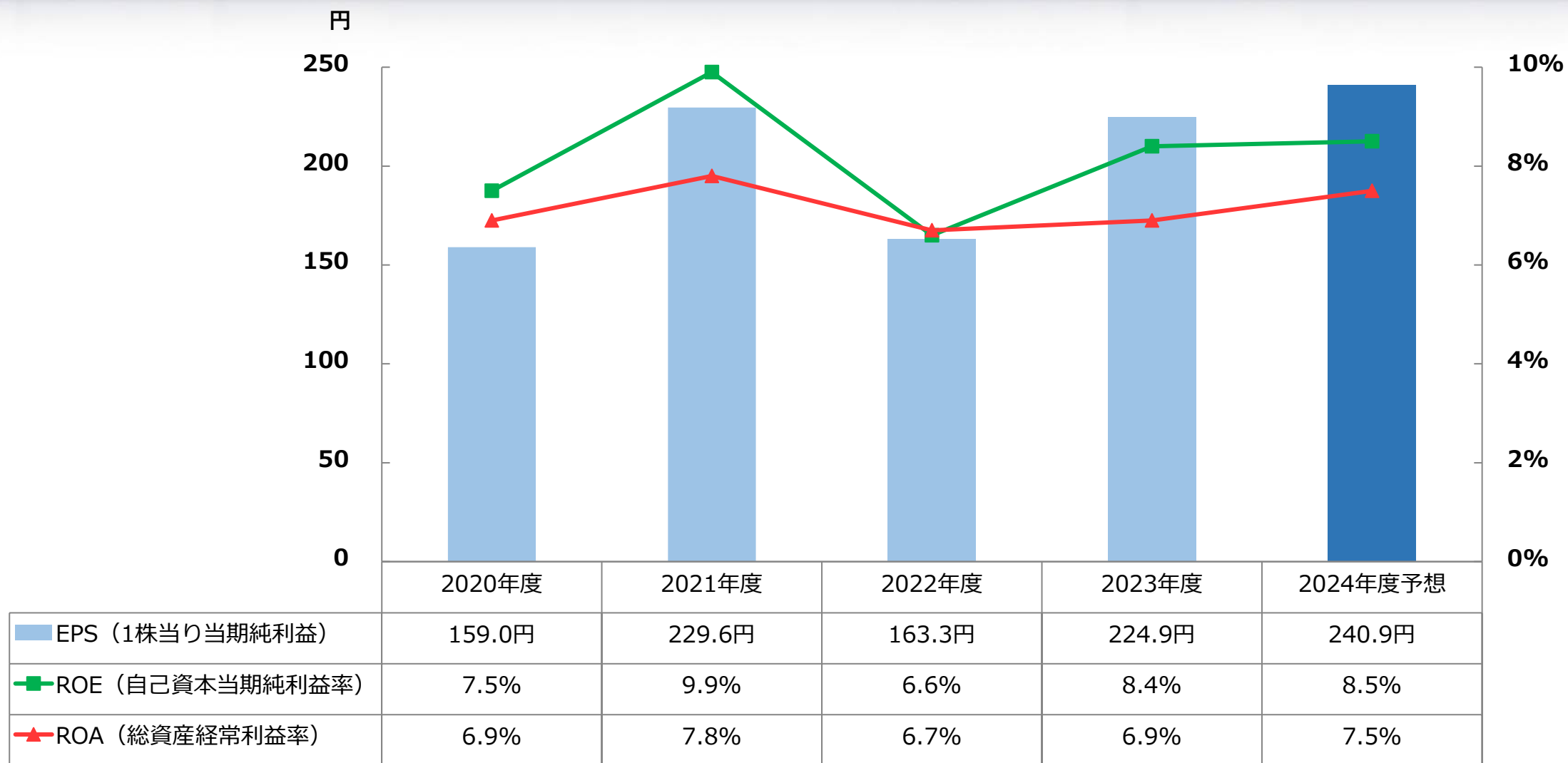
1. 連結決算補足資料

（単位：億円）

	前中間連結会計期間 (2023/4/1-2023/9/30)	当中間連結会計期間 (2024/4/1-2024/9/30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	266	330
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 152	△ 94
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 113	△ 170
現金及び現金同等物に係る換算差額	24	△ 8
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	24	56
現金及び現金同等物の期首残高	795	969
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	-
現金及び現金同等物の中間期末残高	820	1,025

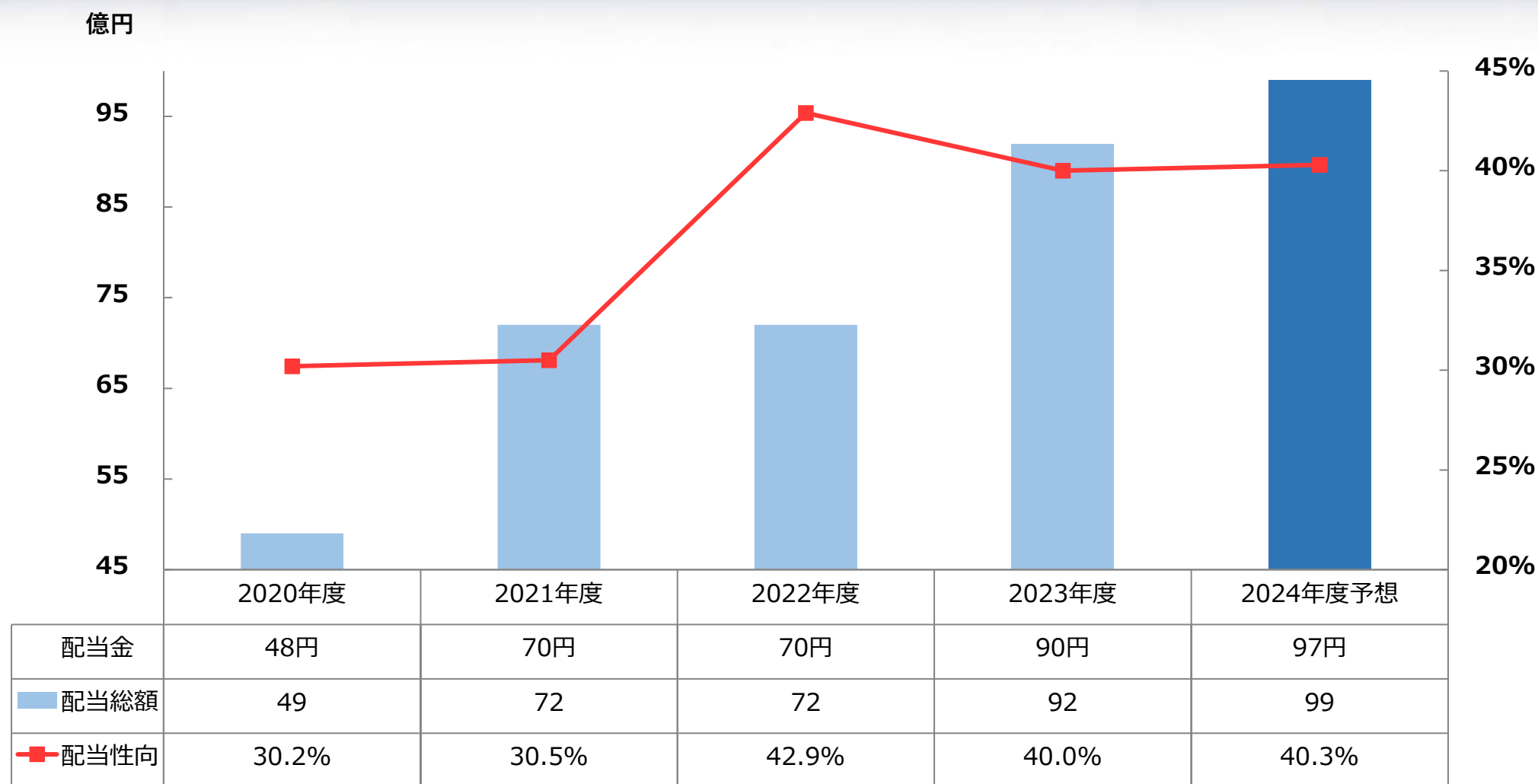
注）金額は億円未満を切り捨てて表示

2-1 収益性



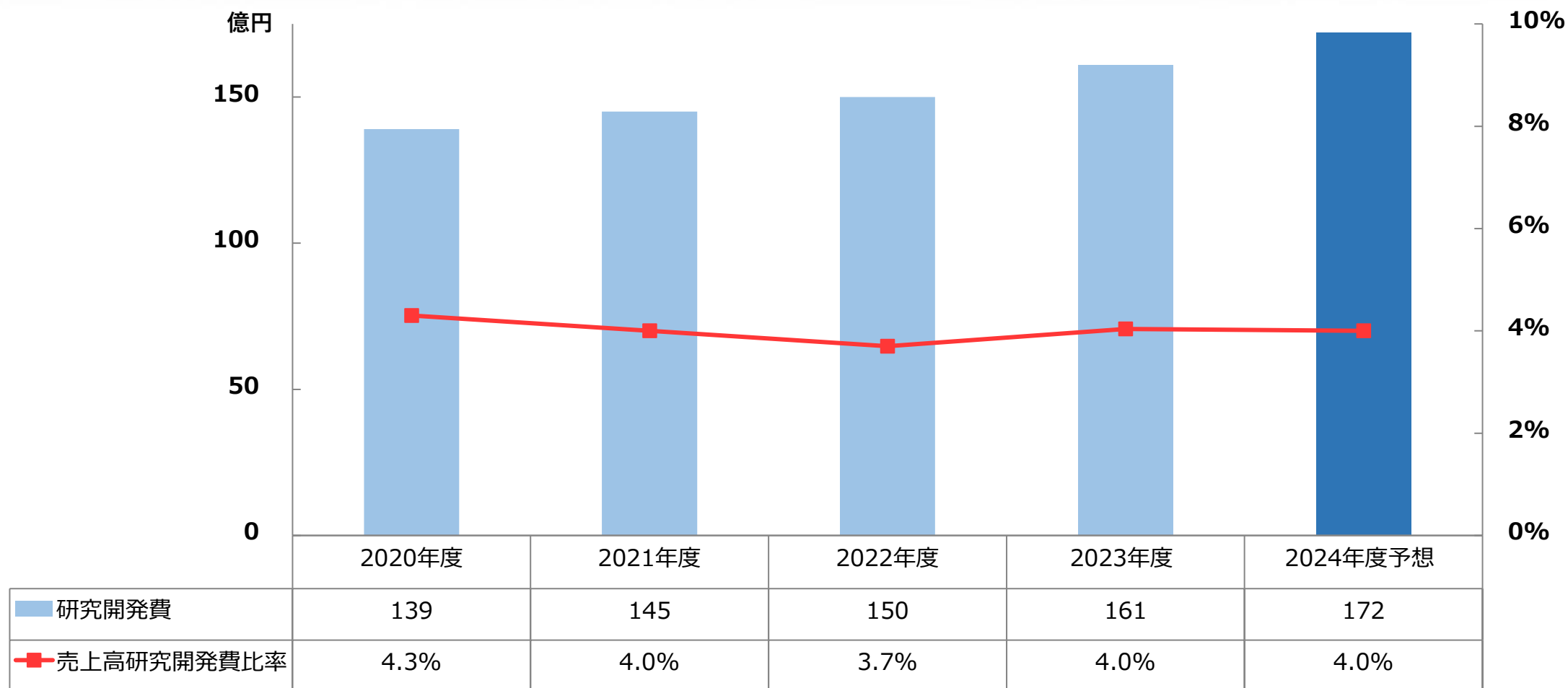
注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示、比率は小数点第2位を四捨五入して表示 注2) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

2-2 配当金、配当性向



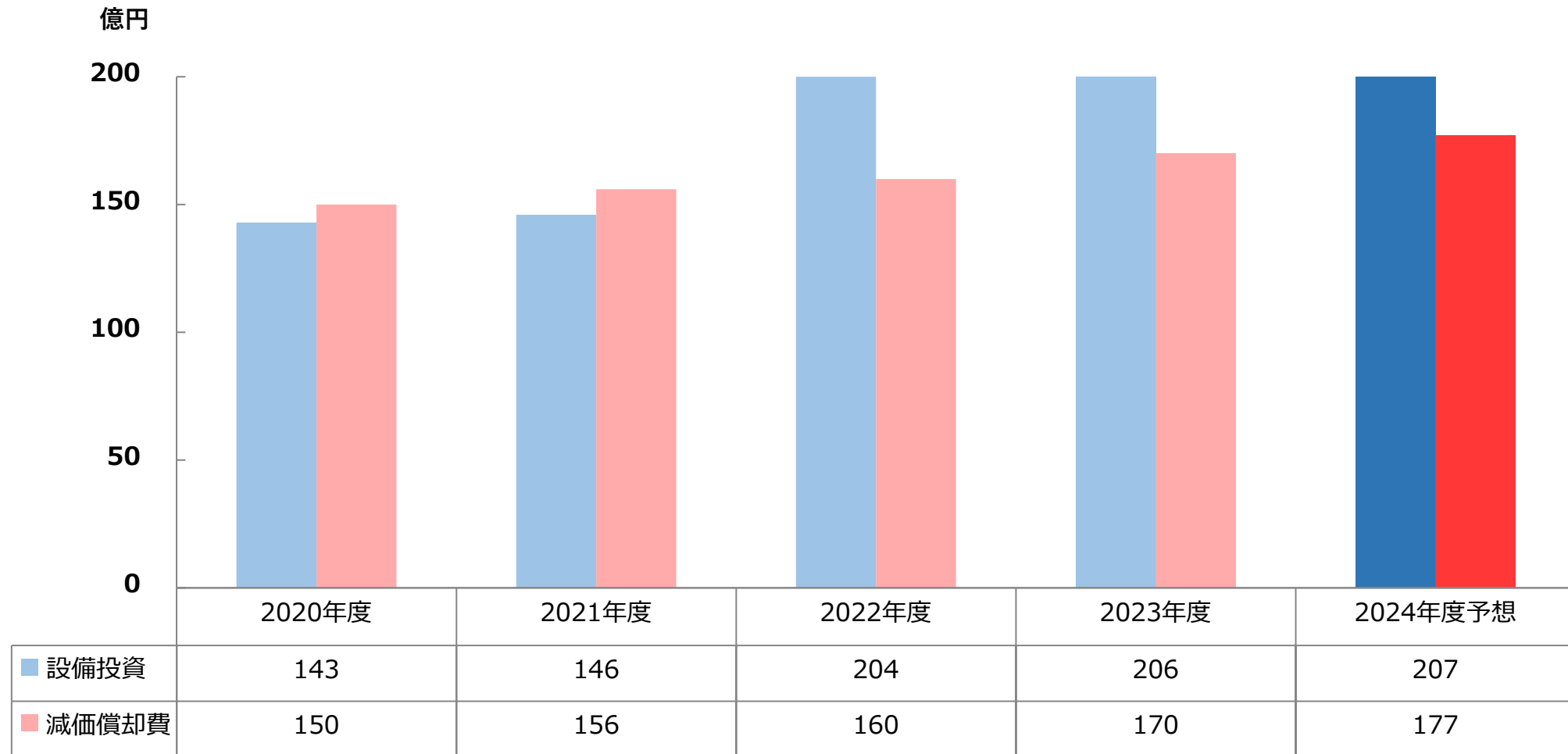
注1) 配当総額は億円未満を切り捨て、配当性向は小数点第2位を四捨五入して表示

注2) 2021年度の配当性向は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載



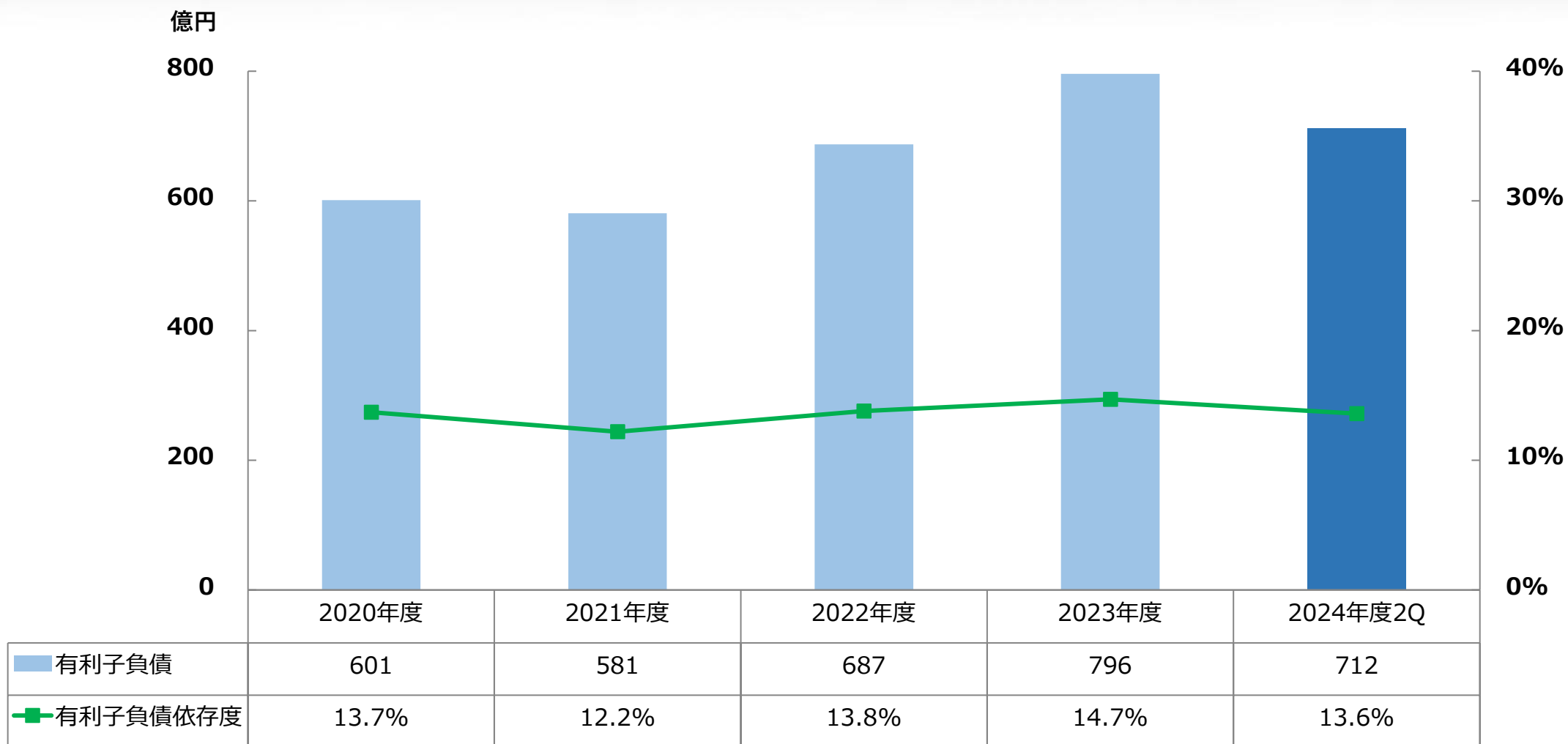
注1) 研究開発費は億円未満を切り捨て、比率は小数点第2位を四捨五入して表示

注2) 2021年度の売上高研究開発費比率は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載



注) 設備投資、減価償却費は億円未満を切り捨てて表示

2-5 有利子負債



3-1 単独・連結子会社の決算概要

3. ご参考

■ 単独 ■ 連結

(単位：億円)

単独決算				
	2023年度 上期	2024年度 上期	増減	増減率(%)
売上高	748	800	51	6.9
営業利益	59	78	19	32.5
経常利益	154	154	△ 0	△ 0.3
中間純利益	130	129	△ 1	△ 0.9
1株当たり 純利益	127.5	126.5		

国内（9社）				
	2023年度 上期	2024年度 上期	増減	増減率(%)
売上高	467	474	7	1.5
営業利益	9	12	2	22.9
海外（18社）				
売上高	878	1,016	137	15.7
営業利益	70	86	15	22.1
日本農薬（10社）				
売上高	406	391	△ 15	△ 3.8
営業利益	11	10	△ 1	△ 12.5

連結調整		
	2023年度 上期	2024年度 上期
売上高	△ 625	△ 732
営業利益	△ 3	△ 4

注1) 金額は億円未満を切り捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

注2) 2024年4月1日を効力発生日として、A D E K A 食品販売(株)が(株)ヨンゴと(株)クラウンを吸収合併

3-2 連結子会社概要（国内14社）

3. ご参考

2024年9月30日現在

セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
化学品	A D E K A ケミカルサプライ(株)	104百万円	100.00 (間接所有5.57)	化学製品の販売、金属加工油等の開発、製造、販売
化学品	A D E K A クリーンエイド(株)	140百万円	100.00	業務用厨房用洗剤、工業用洗剤等の開発、販売
化学品	オキシラン化学(株)	600百万円	51.00	エポキシ系可塑剤等の製造、販売
食品	A D E K A 食品販売(株)	42百万円	100.00	製菓・製パン用食用加工油脂、その他食品原料等の販売
食品	A D E K A ファインフーズ(株)	50百万円	100.00	マヨネーズ類、油脂加工食品類、魚介類を使用した加工製品の製造、販売
食品	上原食品工業(株)	70百万円	100.00	フラワーペースト、餡類及びレトルト、調理食品の製造、販売
ライフサイエンス	日本農薬(株)	14,939百万円	51.00	農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、木材用薬品、医療材料などの製造、販売
ライフサイエンス	(株)ニチノー緑化	160百万円	100.00 (間接所有100.00)	ゴルフ場用・家庭園芸用・緑化用薬剤の販売、芝・芝関連資材の販売、造園・芝生地的设计・施工など
ライフサイエンス	(株)ニチノーサービス	3,400百万円	100.00 (間接所有100.00)	農薬等の受託製造及び製造販売業、農薬等の保管・配送業務の請負、圃場・栽培管理の請負、不動産の管理業務など
ライフサイエンス	日本エコテック(株)	20百万円	100.00 (間接所有100.00)	農薬残留分析、化学物質の安全性試験など
ライフサイエンス	(株)アグリマート	50百万円	100.00 (間接所有100.00)	白蟻防除資材、防疫用殺虫剤等の販売など
その他	A D E K A 物流(株)	50百万円	100.00	当社物流の総元請、倉庫業、車輛等のリース
その他	A D E K A 総合設備(株)	130百万円	100.00	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス
その他	A D E K A ライフクリエイト(株)	65百万円	100.00 (間接所有20.00)	不動産の売買、仲介、管理、損保・生保代理業、OA機器職域販売、ビル・社宅等の管理運営

3-3 連結子会社概要（海外23社①）

3. ご参考

2024年9月30日現在

国名	セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
米国	化学品	ADEKA USA CORP.	100万USD	100.00	化学製品の販売
米国	化学品	AMFINE CHEMICAL CORP.	1,600万USD	60.00	樹脂添加剤の製造、販売
米国	化学品	AM STABILIZERS CORP.	850万USD	100.00 (間接所有100.00)	樹脂添加剤の製造、販売
米国	ライフサイエンス	NICHINO AMERICA, INC.	70万USD	100.00 (間接所有100.00)	米国における農薬の販売、普及、開発、登録など
イギリス	ライフサイエンス	NICHINO EUROPE CO.,LTD.	3万£	100.00 (間接所有100.00)	欧州における農薬の製造、販売など
ブラジル	ライフサイエンス	SIPCAM NICHINO BRASIL S.A.	22,389万BRL	50.00 (間接所有50.00)	ブラジルにおける農薬の製造、販売など
ドイツ	化学品	ADEKA EUROPE GMBH	50万EUR	100.00	化学製品の販売
フランス	化学品	ADEKA POLYMER ADDITIVES EUROPE SAS	300万EUR	100.00 (間接所有100.00)	樹脂添加剤の製造、販売
中国	化学品	艾迪科（中国）投資有限公司	3,100万USD	100.00	化学製品の販売
中国	化学品	艾迪科精細化工（上海）有限公司	300万USD	100.00	樹脂添加剤、機能性樹脂、電子材料等の製造、販売
中国	化学品	艾迪科精細化工（常熟）有限公司	2,154万USD	50.00	樹脂添加剤の製造、販売
中国	食品	艾迪科食品（常熟）有限公司	2,300万USD	70.00	加工油脂、加工食品の製造、販売
中国	化学品	艾迪科精細化工（浙江）有限公司	3,000万USD	100.00 (間接所有100.00)	樹脂添加剤など化学製品の製造、販売

3-3 連結子会社概要（海外23社②）

3. ご参考

2024年9月30日現在

国名	セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
台湾	化学品	長江化学股份有限公司	3,000万NTD	50.50	樹脂添加剤及び可塑剤等の製造、販売
台湾	化学品	台湾艾迪科精密化学股份有限公司	2億NTD	100.00	化学製品の製造、販売
台湾	ライフサイエンス	日佳農薬股份有限公司	4,000万NTD	57.00 (間接所有57.00)	農薬の製造、販売
インド	ライフサイエンス	NICHINO INDIA PVT. LTD.	436万INR	100.00 (間接所有100.00)	インドにおける農薬の販売、製造、輸出入、普及、開発など
韓国	化学品	ADEKA KOREA CORP.	150億WON	100.00	化学製品等の製造、販売
タイ	化学品	ADEKA FINE CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.	3億5,000万THB	81.00	化学製品の製造、販売
シンガポール	化学品	ADEKA (ASIA) PTE.LTD.	80万USD	100.00	化学製品の販売
シンガポール	食品	ADEKA (SINGAPORE) PTE.LTD.	800 万SGD	100.00	加工油脂、冷凍パイ生地及び関連食品の製造、販売
マレーシア	食品	ADEKA FOODS (ASIA) SDN.BHD.	9,000万MYR	60.00	加工油脂の製造、販売
UAE	化学品	ADEKA AL OTAIBA MIDDLE EAST LLC	4,546万AED	49.00	樹脂添加剤の製造・販売、化学品等の販売

3-4 持分法適用会社概要

3. ご参考

2024年9月30日現在

国名	セグメント	持分法適用会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
日本	化学品	(株)コープクリーン	80百万円	46.88	石鹼、洗剤等の開発、販売
日本	化学品	昭和興産(株)	550百万円	21.43	合成樹脂、化学品、産業資材、情報電材、環境関連製品の販売
日本	ライフサイエンス	タマ化学工業(株)	126百万円	33.43 (間接所有33.43)	有機合成化学品の製造・販売
イタリア	ライフサイエンス	SIPCAM EUROPE S.P.A.	3,694万EUR	20.00 (間接所有20.00)	欧州における農薬の製造、販売
イギリス	ライフサイエンス	INTERAGRO (UK) LTD.	33,037 £	100.00 (間接所有100.00)	アジュバント・バイオスティミュラントの販売、開発
オランダ	ライフサイエンス	INTERAGRO NETHERLANDS BV	1€	100.00 (間接所有100.00)	アジュバント・バイオスティミュラントの販売、開発
ハンガリー	ライフサイエンス	IA AGRICULTURE HUNGARY KFT	300万HUF	100.00 (間接所有100.00)	アジュバント・バイオスティミュラントの販売、開発
南アフリカ	ライフサイエンス	NICHINO SOUTH AFRICA (PTY) LTD.	0	100.00 (間接所有100.00)	農薬の開発、登録
マレーシア	ライフサイエンス	AGRICULTURAL CHEMICALS (MALAYSIA) SDN. BHD.	205万MYR	24.18 (間接所有24.18)	マレーシアにおける農薬の製造、販売
ベトナム	ライフサイエンス	NICHINO VIETNAM CO.,LTD.	226億8,000万VND	100.00 (間接所有100.00)	ベトナムにおける農薬の製造、販売

3-5 事業区分別主力製品

事業区分		主要製品
報告セグメント	化学品事業	樹脂添加剤 ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤、その他
		電子材料 高純度半導体材料、光酸発生剤、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、光硬化樹脂、光開始剤、画像材料、その他
		環境材料 エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、化粧品原料、プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、水膨張性シール材、電池材料、その他
	食品事業	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ・調理用油脂、プラントベースフード、ホイップクリーム、練り込み用クリーム、フィリング類、マヨネーズ・ドレッシング類、機能性食品素材、その他
	ライフサイエンス事業	農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、木材用薬品、医療材料、その他
その他		設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス、物流業、倉庫業、車両等リース、不動産業、保険代理業、その他

3-6 主な用途と製品例

● 樹脂添加剤 ● 電子材料 ● 環境材料 ● 食品 ● ライフサイエンス

セグメント	マーケット	主な用途と製品例
化学品	自動車	● 内外装：核剤、光安定剤 ● ハーネス：塩ビ用安定剤 ● ゴム部材：可塑剤 ● エンジンオイル：潤滑油添加剤 ● 構造用接着剤：エポキシ樹脂 ● 車載用電子部品：エポキシ樹脂接着剤
	建築・インフラ	● 壁紙・サッシ、パイプ：塩ビ用安定剤 ● 塗料：反応性乳化剤、水系樹脂 ●● 床材：塩ビ用安定剤、エポキシ樹脂
	半導体	●● メモリ・ロジックIC：高誘電材料、光酸発生剤、エッチング材料、過酸化製品
	ディスプレイ	●●● 光学フィルム：光安定剤、光硬化樹脂、水系樹脂 ● 筐体…難燃剤 ● CF：光重合開始剤、BMレジスト ●● 基板：エッチング材料、過酸化製品
食品	量販店・コンビニ	● パン・菓子：マーガリン、ショートニング、フィリング ● 洋菓子：ホイップクリーム ● 土産菓子：マーガリン、クリーム
	観光・外食産業	● ホテル・カフェ・レストラン：プラントベースフード
ライフサイエンス	農業	● 水稻・園芸：殺虫剤、殺菌剤 ● 除草剤

業績予想・事業計画に関する注意事項

この資料に記載されている業績予想、事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の結果は今後生ずる様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります。